

提案事業の目標

- 2年間で8名以上の研修医を受け入れ、育成。
- 2. こども医療センターの新生児医療体制を整備、向上させ、重症新生児の受入拡大とともに、神奈川県周産期救急医療システムの充実を図る。
- 3. 都市部と地方の連携した新しい研修医制度のモデル県を目指す。

神奈川県に新生児医療を大切に考える医師に集まってもらい、よりよい新生児医療を展開する。
→未来の新生児医療の人材や技術を全国に発信する！

周産期、私たちにできること まずは、知ることから・・・

- ▶ 医療は万全？絶対的なもの？→救えない命もある・・・
- ▶ 現在、私たちを取り巻く現状

あまりにも深刻な**新生児科医の不足、
救急医の不足、NICUベッドの不足
搬送システムの問題点**

- ▶ ～知ろうNICU 頑張れNICUプロジェクト～
妊娠120家族に1家族はNICUに入る現状
➡ 対岸の火事ではありません

お母さんを温かく育てる社会へ・・・

産前

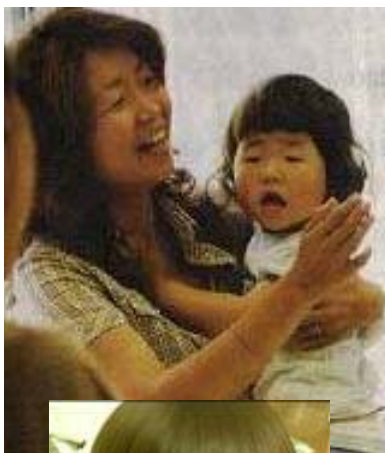


産後

- 母親学級の見直し
既存プログラムに加え、
お産は今も命がけということ
周産期・NICUについて
(いかに未受診の妊娠が
NICUに混乱をきたすのか)
お母さん達が必要な情報・
時代にあったプログラムを！

- 産後教室は、自治体によつて差がある。
“全国统一で開催”
- プログラムには、子どもの病気(#7119 & #8000などの情報)・母親の体の変化など産後のケアに特化した専門家・先輩お母さん等呼んで、プログラムを！
- スウェーデンでの取り組み

～すべては子ども達の「未来」のために～



私たちひとりひとりにできることがあります